



たくさんのお月さま

ジェームズ・サーバー 文
ルイス・スロボドキン 絵
なががわちひろ 訳
徳間書店

スロホ

病気になってしまったレノアひめの願いは、「お月さまがほしい」ということ。王様は大臣、魔法使い、数学の大先生、そして道化師に相談しますが……。日本で1949年に紹介されてから、半世紀以上読みつかれてきた絵本です。



たいせつなこと

マーガレット・ワイス・ブ라운 さく
レナード・ワイスガード え
うちだややこ やく
フレーベル館

ワイス

たいせつなことって、なんですか？こおろぎにとってたいせつなのは、黒いということ。グラスにとってたいせつなのは、向こう側が透けて見えること。ひなぎくにとってたいせつなのは、白くあるということ。では、あなたにとってたいせつなことは？



ちいさいおうち

ばーじにあーりー
ばーとん 文・絵
石井桃子 訳
岩波書店

ハトン

むかしむかし、ずっと田舎の静かなところにちいさいおうちがありました。おうちのまわりには、ひなぎくやりんごの木が植えてありました。時は流れ、周りの景色も変わっていきました。ちいさいおちは、まちに住んでみたいと思うようになりました。



チムとゆうかなんせんちょうさん

エドワード・アーティゾーニ ぶんとな
福音館書店

アテイ

船乗りになりたいチムは、大人になるまで待ちきれなくて、こっそり汽船に乗り込みます。辛い仕事もがんばってこなし、船員たちと仲よくなりました。ところが、嵐に遭い、チムは汽船の中に船長と二人きりで取り残されてしまいました。



月夜のみみずく

ヨーレン 詩
くどうなおこ 訳
ショーエンハール 絵
偕成社

シヨエ

冬の夜更け。父さんとわたしは、みみずく探しに出かけました。静まりかえった雪の中を、森に向かって歩きます。「みみずくに会いに行くときは、静かにしなくちゃいけないよ」って、父さんが教えてくれたから、わたしは黙ってついていきました。



となりのせきのますだくん

武田美穂 作・絵
ポプラ社

タケタ

みほちゃんは、今日学校へ行きたくありません。いつもいじわるをしてくる、となりの席のますだくんとけんかをしたからです。新1年生の日常のひとコマを、みほちゃんの心を通して描いた、ほほえましい絵本です。



とべバツタ

田島征三 作
偕成社

タシマ

外敵におびえながら、茂みの中に隠れ住んでいたバツタ。ある日、そんな生活がいやになり、大きな石の上でゆうゆうと日向ぼっこを始めます。ヘビとかまきりが襲ってきたとき、ついに外の世界へ飛び出しました。力強いバツタの姿が印象に残ります。



どろんここぶた

アーノルド・ローベル 作
岸田裕子 訳
文化出版局

ロヘル

こぶたは、他の何よりもどろんこが大好きです。ところがある朝、おぼさんにどろんこを掃除されてしまいます。怒ったこぶたは、どろんこ探しの旅に出ます……。ユーモラスなこぶたの冒険に、思わず心が和みます。



どんなかんじかなあ

中山千夏 作 和田誠 絵
自由国民社

ワタ

友だちのまりちゃんは、眼が見えない。それで考えたんだ。見えないって、どんな感じかな？しばらく眼をつぶっていたらわかるかもね。うん、眼をつぶってしてみよう。なんてたくさん音が聞こえるだろう。



ないたあかおに

はまだひろすけ ぶん
いけだたつお え
偕成社

イケタ

赤おには、人間たちと仲良く暮らしていきたいと思っていました。友だちの青おには、その願いをかなえてあげるために悪役を演じ、そっと村を出ていきます。おに同士の深い思いやりが、心にひびく絵本です。



にちよういち

西村繁男 作
童心社

ニシム

夏の朝、あっちゃんとおぼあちゃんは、「にちよういち」に出かけます。いろいろな店が軒を連ねています。いろんな人たちが歩いています。真夏のにぎやかな市の様子が、きれいにいきいきと描かれています。



ねぎぼうずのあさたろう

飯野和好 作
福音館書店

イノ

ねぎぼうずのあさたろうは、しいの実のおようちゃんを悪い奴から救い、旅に出ました。茶店で出会った怪しい旅人を、ねぎ汁とわさび、とうからし粉でやつけたました。東海道を西へ西への旅がらす……。あさたろうの旅は続くのです。